

2014年3月期 第2四半期 決算説明会

項目	スピーカー	Page
ご挨拶	取締役専務執行役員 嘉戸 廣之	
14. 3期第2四半期決算概要	執行役員経理部長 堀本 守朗	
14. 3期事業計画	執行役員経理部長 堀本 守朗	



14. 3期第2四半期 実績

- ・ 売上高2,752億円(前年同期比9.8%増) (過去最高)
- ・ 営業利益172億円(前年同期比10.0%増) (過去最高)
- ・ 経常利益187億円(前年同期比15.6%増) (過去最高)
- ・ 純利益124億円(前年同期比26.3%増) (過去最高)

14. 3期事業計画

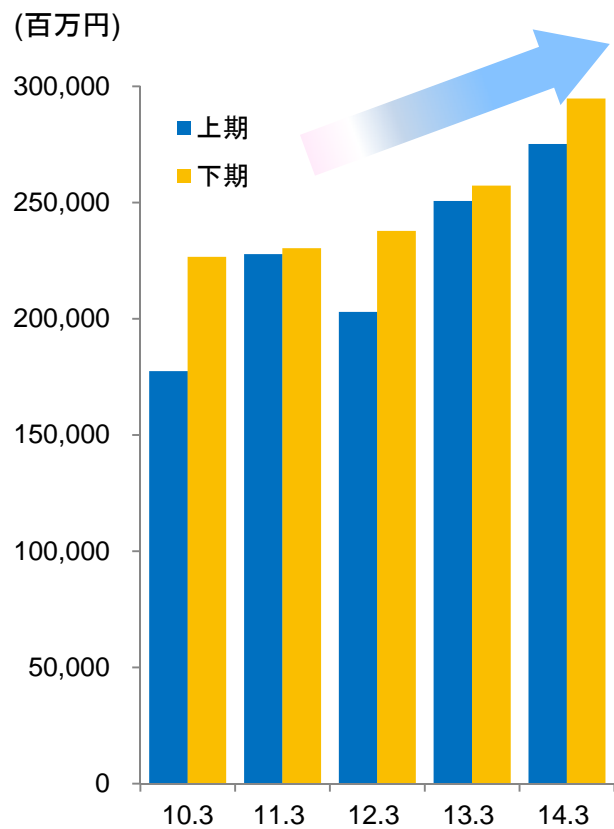
- ・ 売上高5,700億円(前期比12.2%増) (過去最高)
- ・ 営業利益400億円(前期比33.2%増) (過去最高)
- ・ 経常利益420億円(前期比20.3%増) (過去最高)
- ・ 純利益280億円(前期比37.7%増) (過去最高)

当期の配当 について

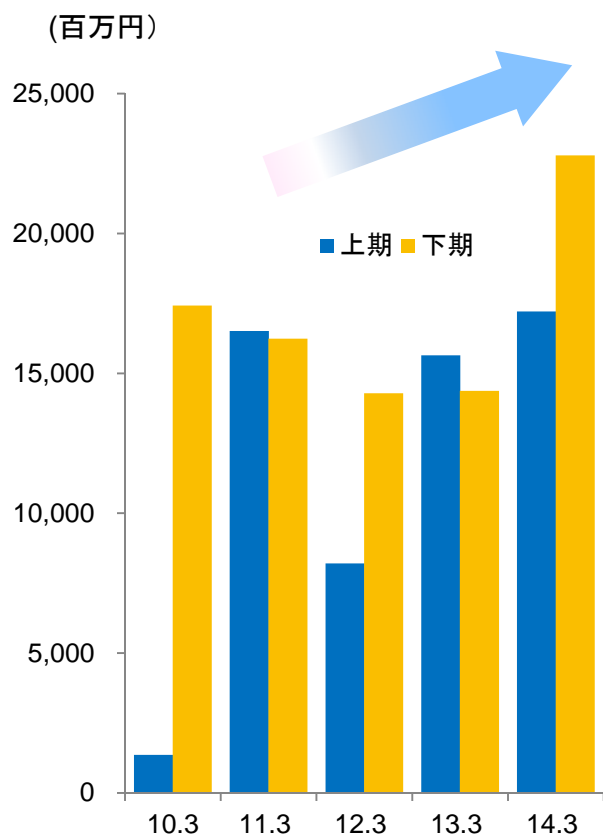
- ・ 第2四半期末 : 10円
- ・ 期末配当(予想) : 10円
- ・ 一株当たりの年間配当金は4円増配の予定

2014年3月期 第2四半期 業績推移

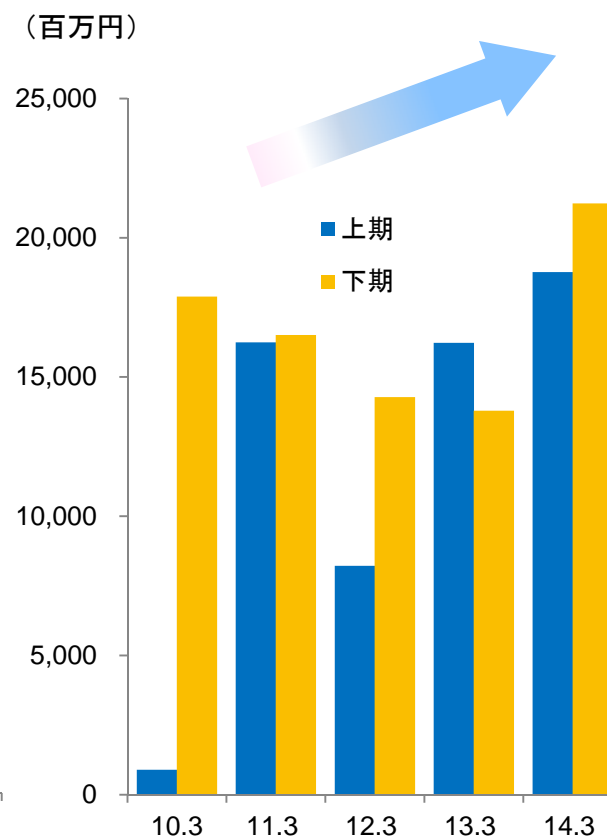
売上高



営業利益



経常利益



2014年3月期 第2四半期実績

- ◆ 国内は「エコカー補助金」終了の反動があるものの、海外での売上の拡大と円安の経営環境のもと前年同期比で増収増益となり、売上・営業利益・経常利益・純利益で第2四半期の過去最高を更新。

(単位：百万円)

	2013年3月 第2四半期 (累計)	2014年3月 第1四半期	2014年3月 第2四半期	2014年3月期第2四半期			
				累計実績	前年 同期比	計画 (13. 8. 8時点)	計画比
売上高	250,685	133,755	141,469	275,224	9.8%	277,000	△0.6%
営業利益	15,644	7,601	9,609	17,210	10.0%	17,100	0.6%
経常利益	16,229	9,320	9,447	18,767	15.6%	19,300	△2.8%
純利益	9,876	6,396	6,076	12,472	26.3%	12,700	△1.8%
EPS (単位：円)	40.65	26.33	25.02	51.35	—	—	—

- ◆ 日本・米国・中国での自動車生産の拡大、円安の流れを背景に利益計画を上方修正。売上高は5,700億円、営業利益は400億円、経常利益は420億円、当期純利益は280億円を計画。いずれも過去最高を目指す。

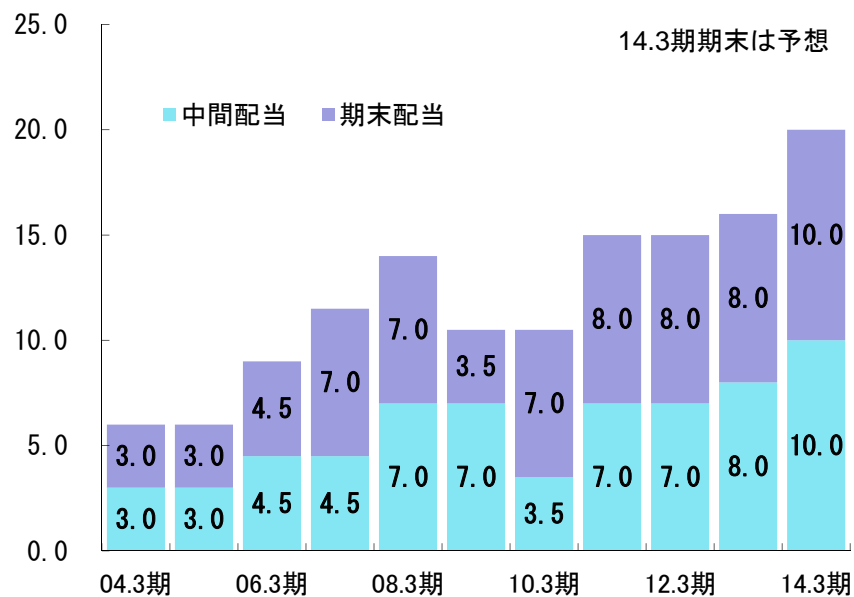
(単位：百万円)

	13.3期 実績	14.3期 計画	前期比
売上高	507,985	570,000	12.2%
営業利益	30,020	40,000	33.2%
経常利益	34,907	42,000	20.3%
当期純利益	20,333	28,000	37.7%
1株当たり当期純利益 (EPS 単位：円)	83.70	115.28	—
為替レート US\$/円	83.23	98.00	—
為替レート THB/円	2.58	3.15	—

当期の配当につきまして

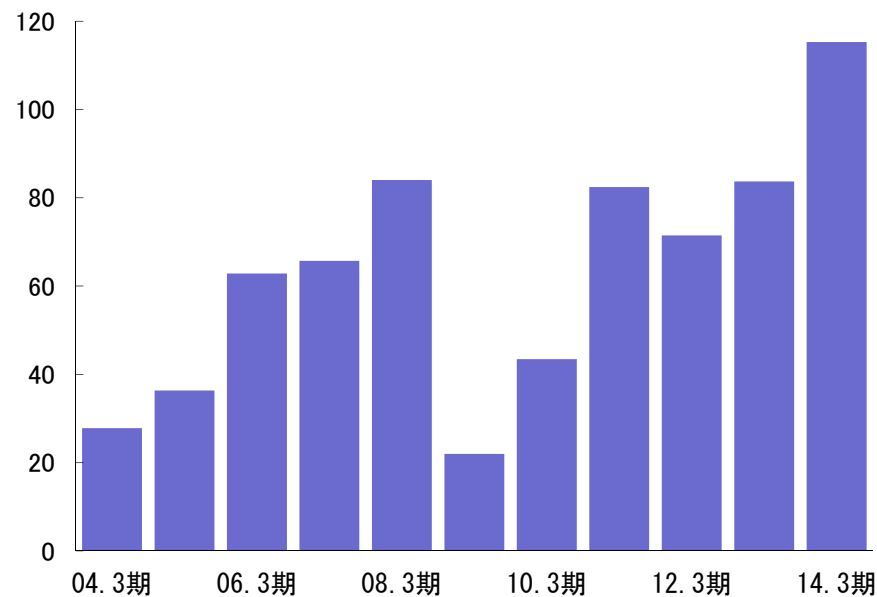
一株当たり配当額

(円)



1株当たり当期純利益

(円)



14.3期第2四半期末配当 : 10円
14.3期期末配当(予想) : 10円

14. 3期第2四半期決算概要



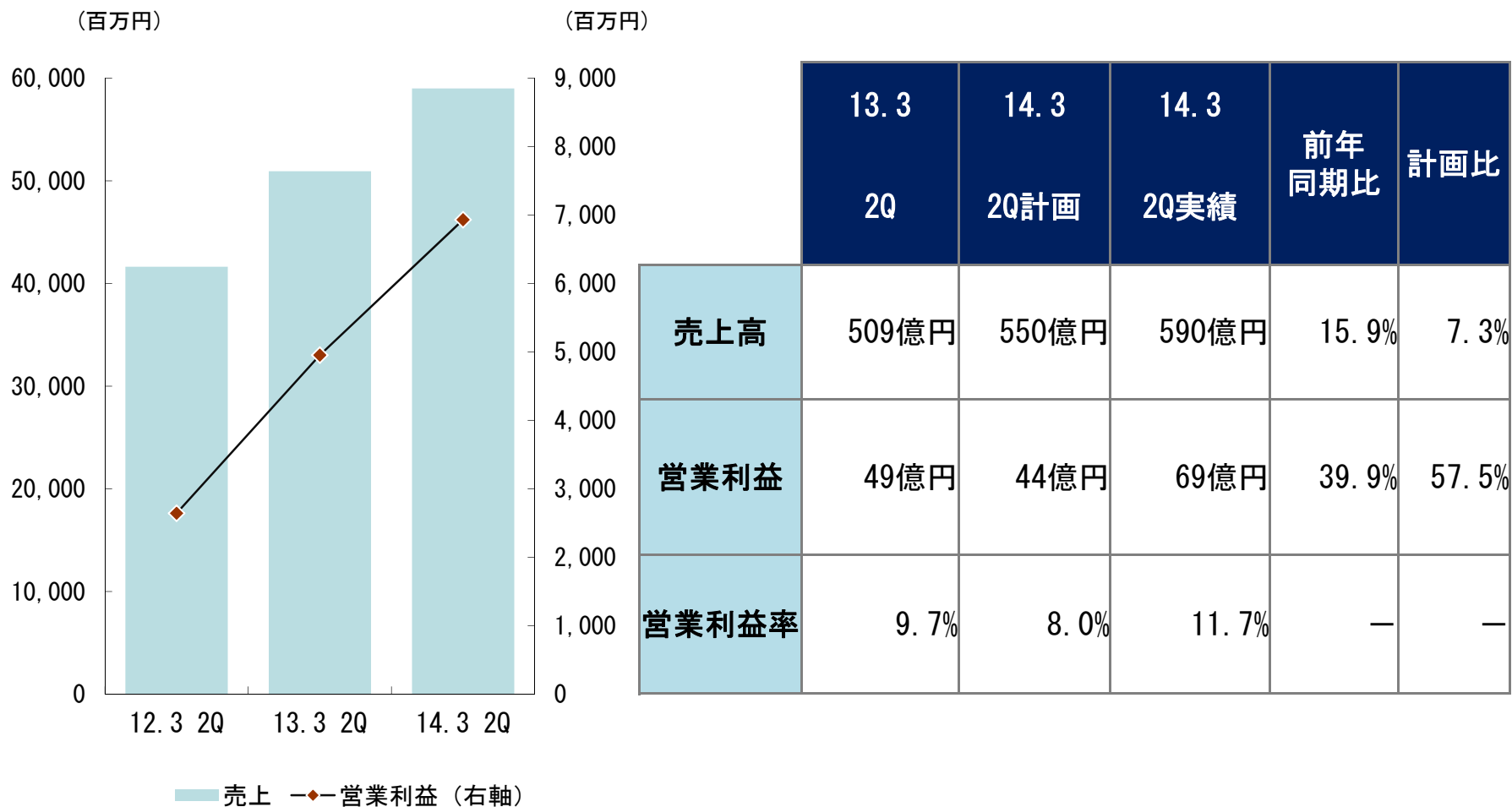
14. 3期第2四半期実績①

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、「エコカー補助金」終了の反動があるものの当初計画台数からの増加により、ばね、シートはほぼ計画どおりの着地となった。
- ◆ 精密部品の中のHDD関連は、円安の効果があつたものの期初のHDD計画台数からの大幅な減の影響により、計画未達となった。

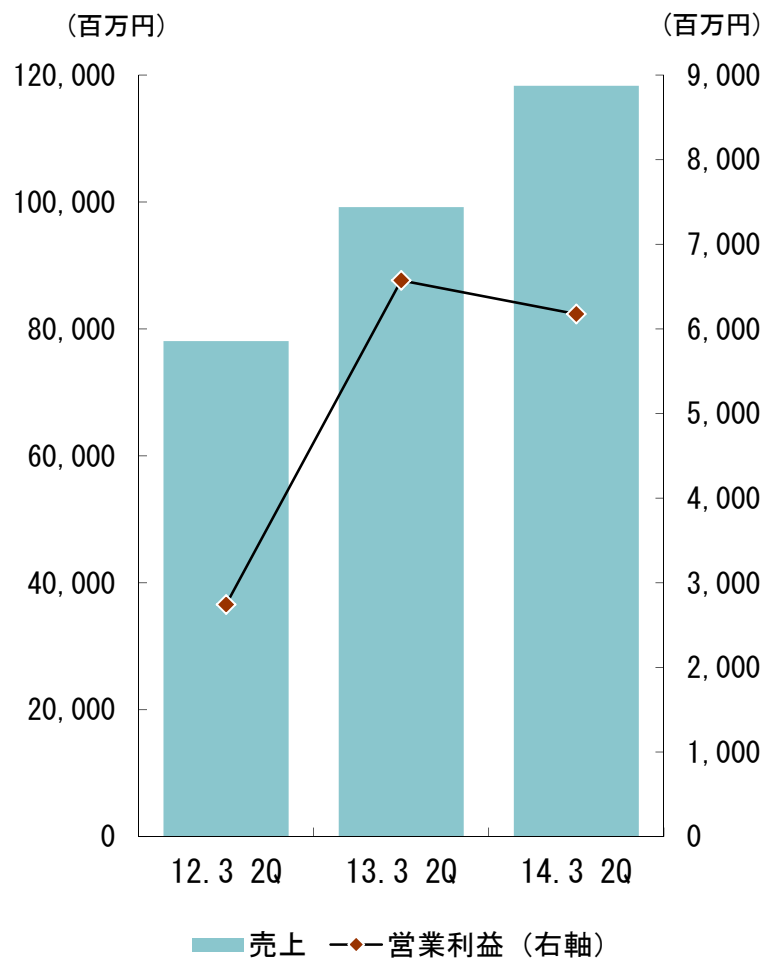
		13.3 上期実績	14.3 上期計画	14.3上期 修正計画	14.3 上期実績	前年同期比	計画対比	修正計画 対比
懸架ばね	売上高	509億円	550億円	590億円	590億円	15.9%	7.3%	0.0%
	営業利益	49億円	44億円	62億円	69億円	39.9%	57.5%	11.3%
	率	9.7%	8.0%	7.9%	11.7%	-	-	-
シート	売上高	991億円	1,190億円	1,190億円	1,183億円	19.3%	-0.6%	-0.6%
	営業利益	65億円	66億円	67億円	61億円	-6.0%	-6.4%	-9.0%
	率	6.6%	5.5%	5.6%	5.2%	-	-	-
精密部品	売上高	651億円	650億円	650億円	629億円	-3.4%	-3.1%	-3.2%
	営業利益	24億円	37億円	32億円	26億円	9.1%	-28.5%	-18.8%
	率	3.7%	5.7%	4.9%	4.2%	-	-	-
産業機器 ほか	売上高	353億円	360億円	340億円	349億円	-1.2%	-3.0%	2.6%
	営業利益	16億円	10億円	10億円	14億円	-13.9%	45.5%	40.0%
	率	4.8%	2.8%	2.9%	4.2%	-	-	-
合計	売上高	2,506億円	2,750億円	2,770億円	2,752億円	9.8%	0.1%	-0.6%
	営業利益	156億円	157億円	171億円	172億円	10.0%	9.6%	0.6%
	率	6.2%	5.7%	9.3%	6.3%	-	-	-

14. 3期第2四半期実績② セグメント別分析① 懸架ばね



前年同期に対しては、海外自動車生産の増加と円安効果により、売上・営業利益とも好調な結果となった。

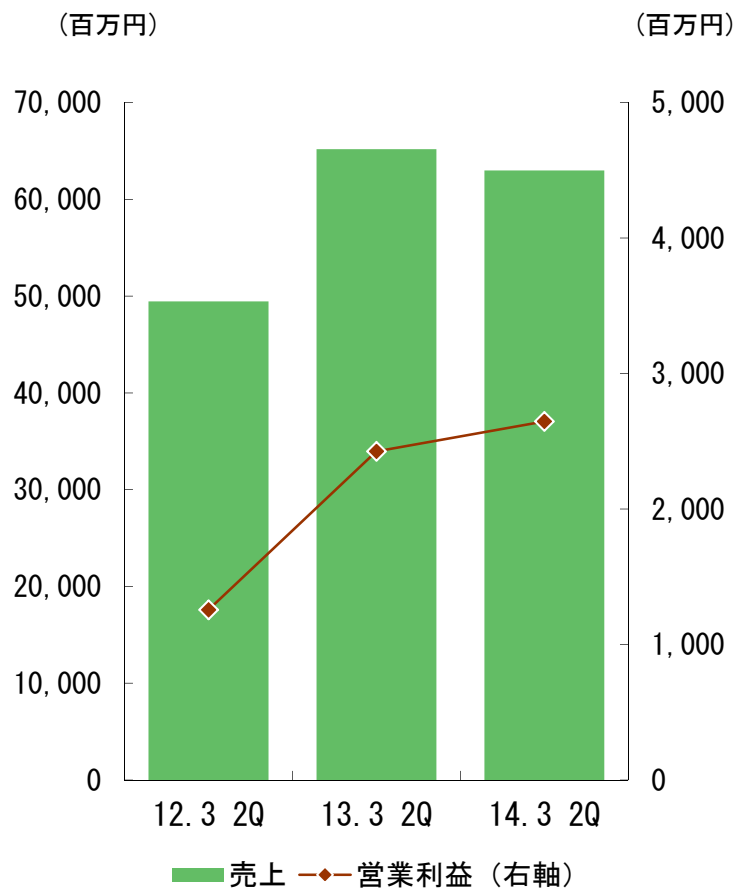
14. 3期第2四半期実績② セグメント別分析② シート



	13.3 2Q	14.3 2Q計画	14.3 2Q実績	前年 同期比	計画比
売上高	991億円	1,190億円	1,183億円	19.3%	△0.6%
営業利益	65億円	66億円	61億円	△6.0%	△6.4%
営業利益率	6.6%	5.5%	5.2%	—	—

前年同期に対しては、海外自動車生産の増加と円安効果により売上は好調であったが、営業利益については中国新会社の費用増もあり若干の減少となった。

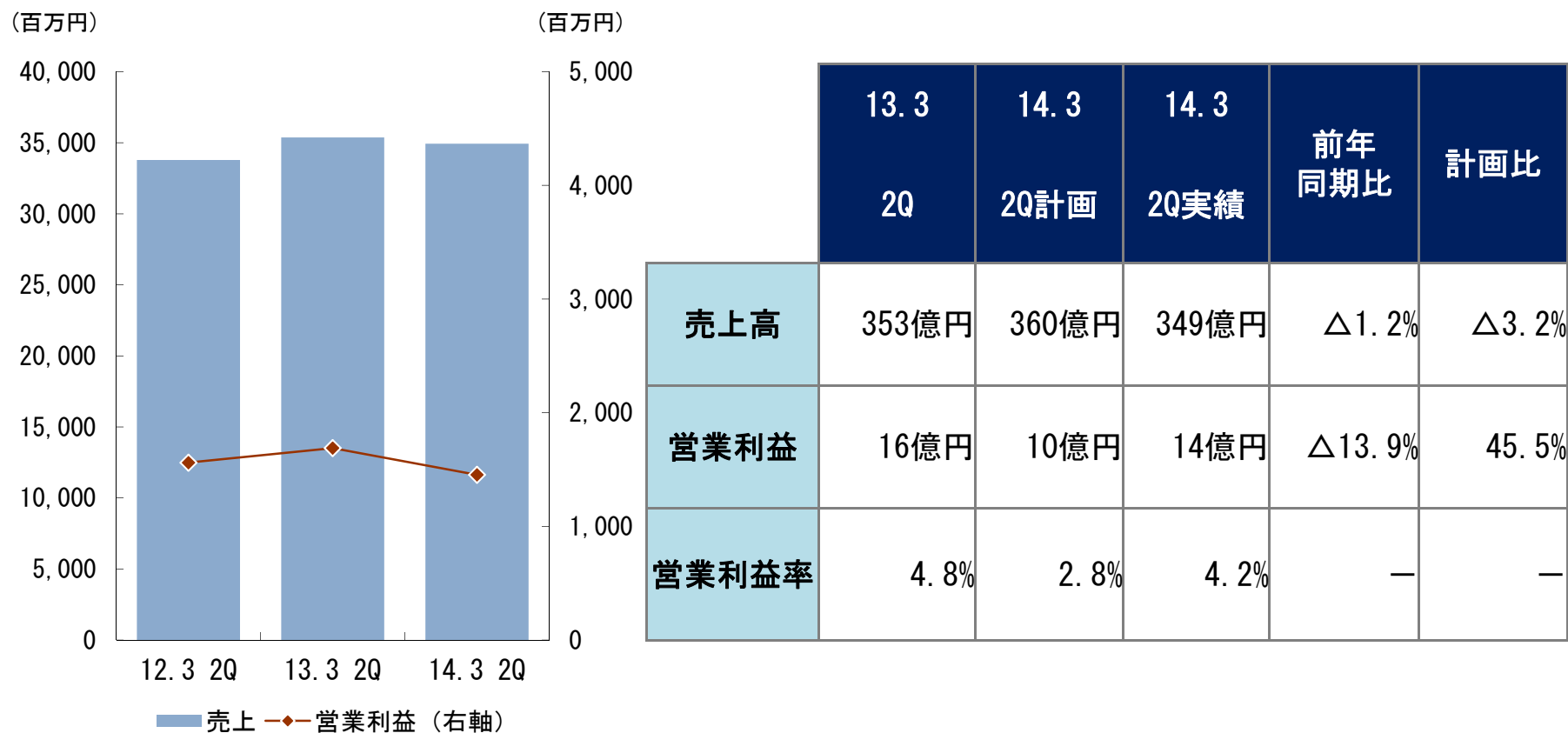
14. 3期第2四半期実績② セグメント別分析③ 精密部品



	13.3 2Q	14.3 2Q計画	14.3 2Q実績	前年 同期比	計画比
売上高	651億円	650億円	629億円	△3.4%	△3.1%
営業利益	24億円	37億円	26億円	9.1%	△28.5%
営業利益率	3.7%	5.7%	4.2%	—	—

前年同期に対しては、国内自動車のエコカー補助金終了の影響とHDD用サスペンションの大幅な減少により売上は減少となったが、営業利益は円安の効果もあり増加となった。

14. 3期第2四半期実績② セグメント別分析④ 産業機器ほか



前年同期に対しては、売上・営業利益ともに減少となった。

14. 3期第2四半期実績③

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	13.3期 上期実績	13.3期 通期実績	14.3期 上期実績	14.3期 通期予想
設備投資	12,133	25,506	10,063	20,624
前年(同期)比	17.8%	25.2%	△17.1%	△19.1%
減価償却費	10,321	21,393	10,253	21,224
前年(同期)比	10.4%	0.1%	△0.7%	△0.8%
研究開発費	5,277	11,750	6,433	13,530
売上高比率	2.1%	2.3%	2.3%	2.4%

14. 3期事業計画

～海外での自動車生産の拡大、円安の流れを背景に

- ・ 売上高5,700億円(前期比12.2%増)
- ・ 営業利益400億円(前期比33.2%増)
- ・ 経常利益420億円(前期比20.3%増)

を目指します～



14. 3期事業計画①

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連(懸架ばね、シート、精密部品・産業機器ほかの一部)は、世界生産の拡大及び為替影響もあり各セグメントで下期の売上高は上期比増の見込み。
- ◆ 精密部品のうちHDD関連は、為替影響があるものの上期に対してやや減少と織り込み。

		13. 3期 実績	14. 3期計画			前期比
			上期実績	下期予想	通期予想	
懸架ばね	売上高	1,032億円	590億円	614億円	1,205億円	16.8%
	営業利益	102億円	69億円	70億円	139億円	36.3%
	率	9.9%	11.7%	11.4%	11.5%	—
シート	売上高	2,087億円	1,183億円	1,286億円	2,470億円	18.4%
	営業利益	135億円	61億円	98億円	160億円	18.5%
	率	6.5%	5.2%	7.6%	6.5%	—
精密部品	売上高	1,233億円	629億円	665億円	1,295億円	5.0%
	営業利益	29億円	26億円	34億円	61億円	110.3%
	率	2.4%	4.2%	5.1%	4.7%	—
産業機器 ほか	売上高	726億円	349億円	380億円	730億円	0.6%
	営業利益	33億円	14億円	25億円	40億円	21.2%
	率	4.6%	4.2%	6.6%	5.5%	—
合計	売上高	5,079億円	2,752億円	2,947億円	5,700億円	12.2%
	営業利益	300億円	172億円	227億円	400億円	33.2%
	率	5.9%	6.3%	7.7%	7.0%	—

14. 3期事業計画② 地域別の売上高・営業利益の状況

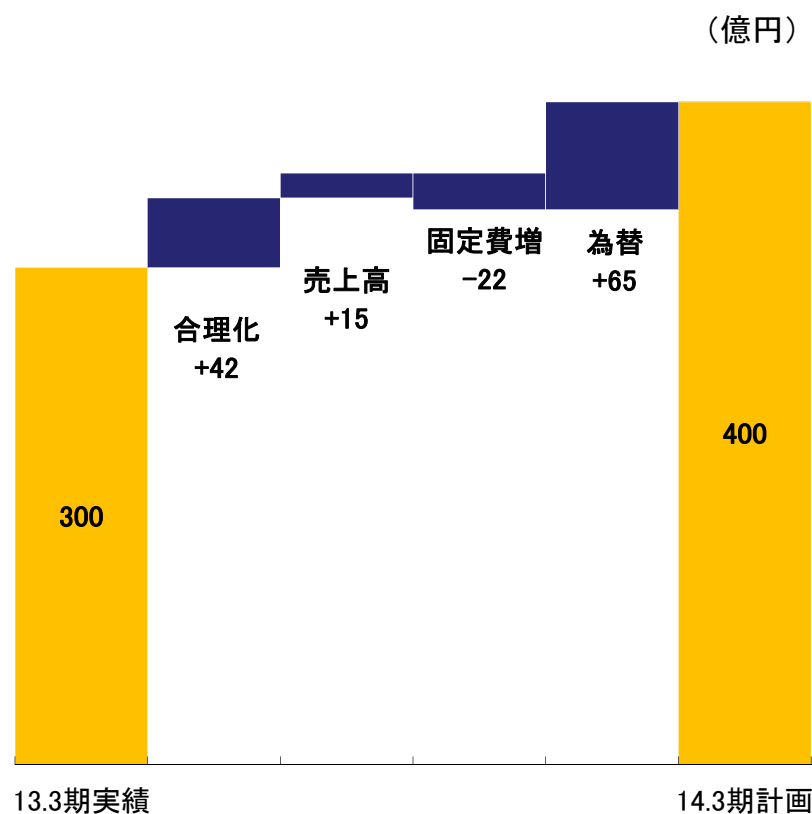
- ◆ 前期に対して国内・海外での自動車生産の拡大、為替影響もあり売上・利益ともに各地域で増加を計画。

		13. 3期	14. 3期	14. 3期計画	前期比
		実績	上期実績	通期予想	
日本	売上高	3,332億円	1,618億円	3,407億円	2.3%
	営業利益	179億円	95億円	230億円	28.5%
	率	5.4%	5.9%	6.8%	—
北米	売上高	569億円	357億円	738億円	29.7%
	営業利益	21億円	10億円	25億円	19.0%
	率	3.7%	3.0%	3.4%	—
アジア	売上高	1,178億円	776億円	1,554億円	31.9%
	営業利益	100億円	66億円	145億円	45.0%
	率	8.5%	8.6%	9.3%	—
合計	売上高	5,079億円	2,752億円	5,700億円	12.2%
	営業利益	300億円	172億円	400億円	33.2%
	率	5.9%	6.3%	7.0%	—

14. 3期事業計画③ 営業利益の変動要因分析

- ◆ 継続的な合理化の実施、国内・海外での売上拡大、円安による為替影響により、営業利益は前期比：100億円の増加。

14. 3計画

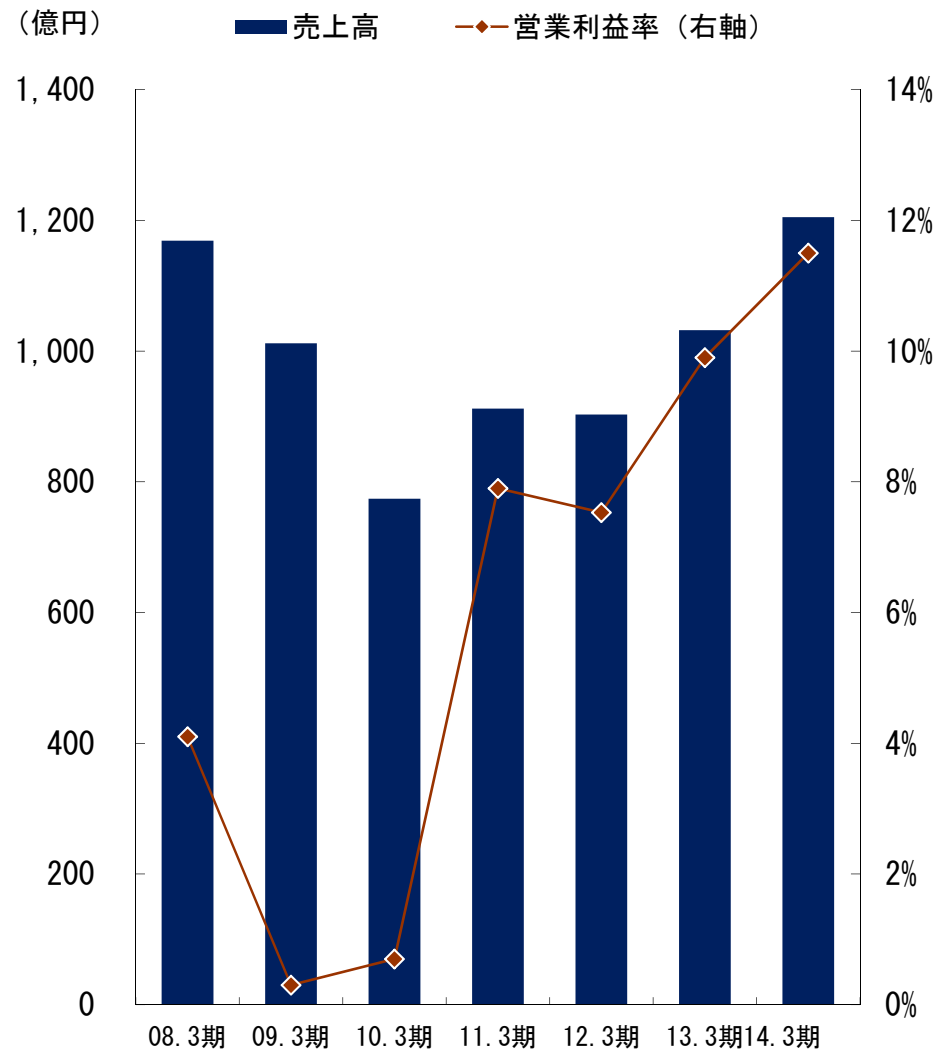


	前期 増減	増減要因	今後の対応
合理化	+42億円	変動費、固定費の合理化	更なる固定費削減、合理化の推進 (歩留り向上、タクトアップ等の活動を継続)
売上増	+15億円	売上増に伴う利益増	確実な受注の獲得、拡販
固定費増	-22億円	研究開発費、人件費の増加	投資回収の継続
為替	+65億円	円安メリットの享受	為替動向の注視

14. 3期事業計画④：セグメント①

懸架ばね 新興国・先進国両市場への拡大対応

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

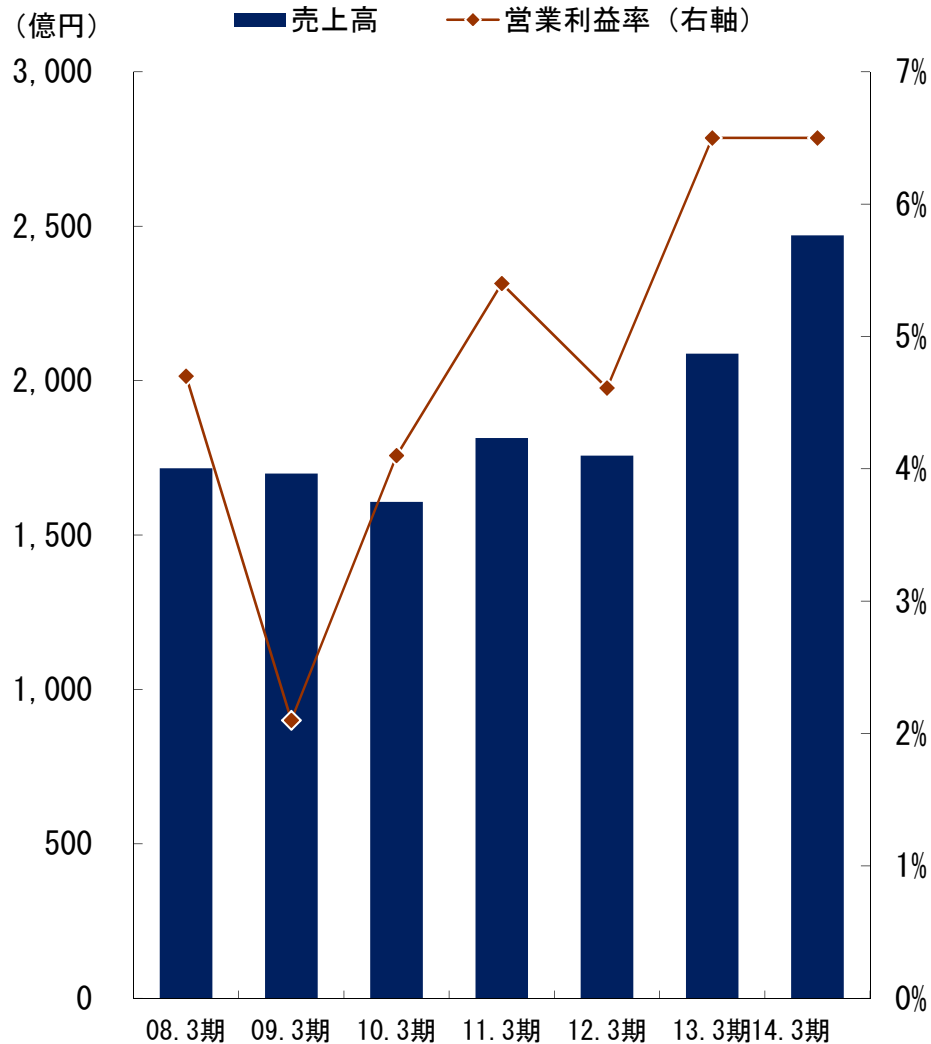
- ◆ 国内 : 収益維持に向けての更なる体質改善
- ◆ アジア : 収益維持に向けての更なる体質改善
- ◆ 北米 : メキシコ事業のスムーズな立上げ準備

今後の課題

- ◆ 次世代軽量化ばねの開発と拡販
- ◆ 巻きばね・スタビライザ新生産ライン構想の実現
- ◆ グローバル材料調達の推進

14. 3期事業計画④：セグメント② シート グローバル展開の推進（新規受注の獲得）

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

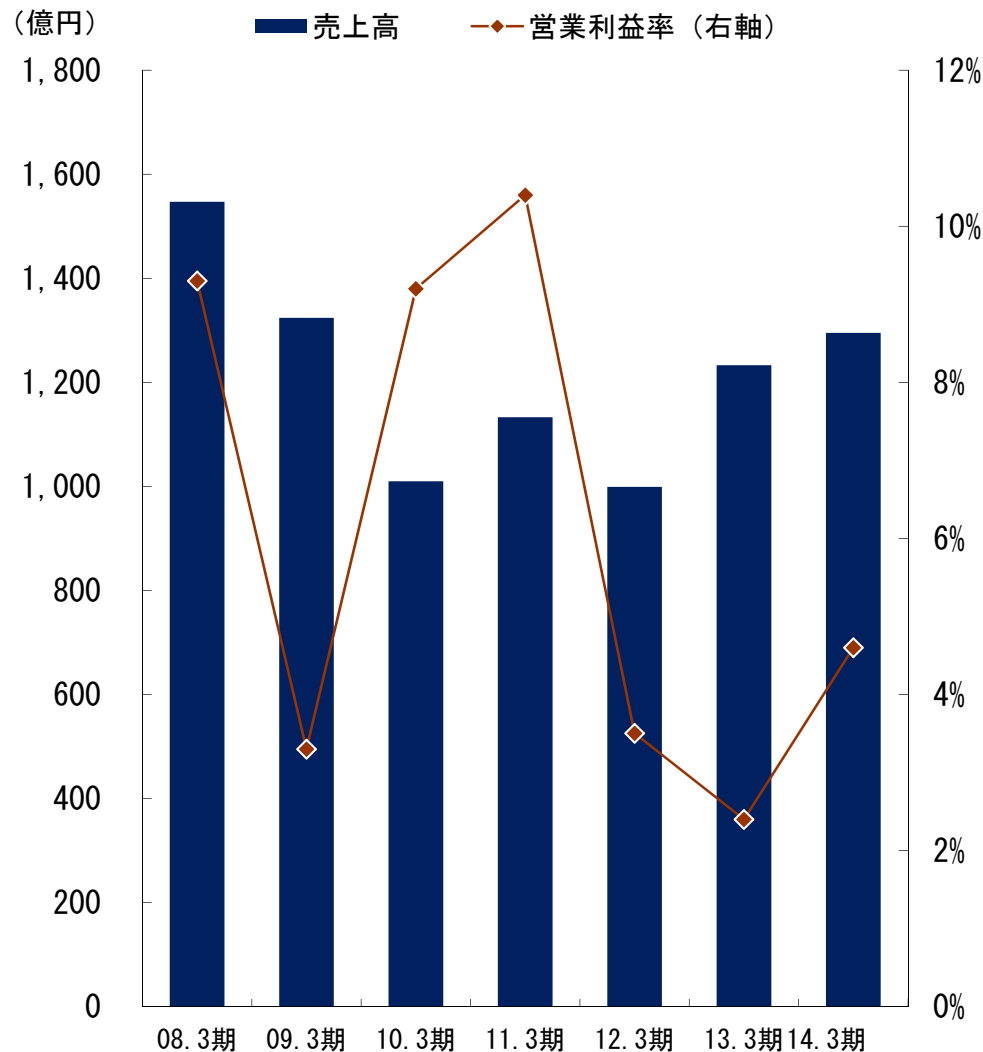
- ◆ 既存ビジネスでの収益確保継続とグローバル展開の推進
- ◆ 競争力強化のための原価管理・利益計画の充実
- ◆ 各客先との相互信頼関係の深耕

今後の課題

- ◆ 国内工場の更なる生産性向上、海外新規工場の収益貢献の早期化
- ◆ グローバル拡大への体制整備（開発要員の確保とレベルアップ）

14. 3期事業計画④：セグメント③ 精密部品 新規受注の獲得

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

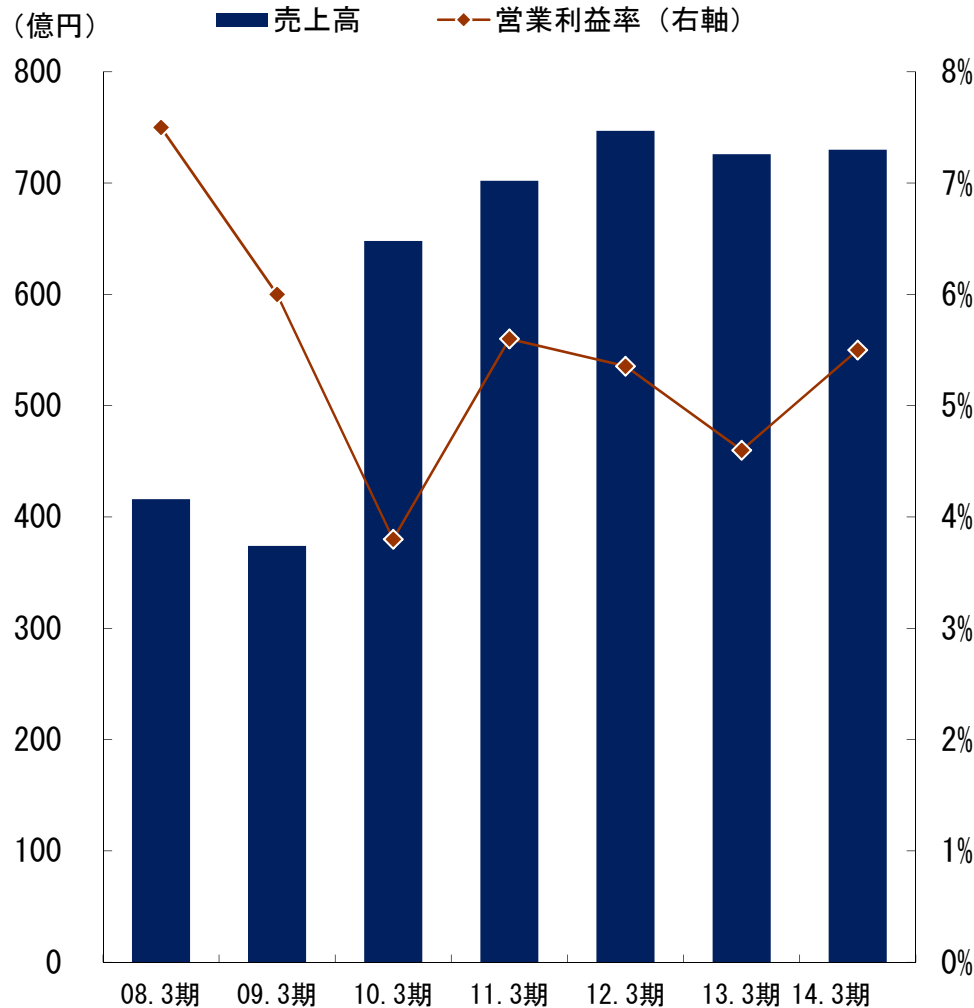
- ◆ 北米での収益回復
- ◆ 国内・海外拠点でのライン再構築による収益向上
- ◆ 新規受注の獲得

今後の課題

- ◆ HDD用サスペンションの更なる拡販
- ◆ モーターコア事業の確立
- ◆ 為替動向の注視

14. 3期事業計画④：セグメント④ 産業機器ほか 成長市場での売上拡大

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

- ◆ 北米・グローバル市場でのシェア拡大 (ICM・電子)
- ◆ 中国市場の取込み (特品・化成品)
- ◆ ソフト事業の拡大 (配管)

今後の課題

- ◆ セキュリティ分野における応用製品の開発
- ◆ 非自動車分野における営業力マーケティング力の更なる深耕

14. 3期事業計画⑤ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

		12. 3期	13. 3期	14. 3期
		通期	通期	通期予想
設備投資	国内	9,563	13,535	10,524
	海外	10,807	11,971	10,100
	合計	20,370	25,506	20,624
減価償却費	国内	13,647	13,666	12,400
	海外	7,724	7,727	8,824
	合計	21,371	21,393	21,224
研究開発費	合計	10,055	11,750	13,530

ご清聴ありがとうございました

補足資料



補足資料 新たな海外展開①

インドネシアにおけるシート合弁会社設立

成長著しいインドネシアにおいて、旺盛な自動車需要に対応するため、インドネシア現地会社カルヤ・バハナ・ウニガム社（以下KBU）およびフランスのフォルシア社と合弁会社を設立し、新たに自動車用シートの製造・販売を開始いたします。

<会社の概要>

- ①社名 日本発条・エフ・ケービーユー・オートモーティブ・シーティング株式会社
(英文名: P. T. NHK F. KBU INDONESIA AUTOMOTIVE SEATING)
- ②設立 2012年10月22日 (合弁契約締結は2013年5月)
- ③所在地 インドネシア・プリアカルタ
- ④代表者 貫名 清彦 (ニッパツ執行役員シート生産本部副本部長)
- ⑤事業内容 自動車用シートの製造・販売
- ⑥資本金 1.2百万USドル
- ⑦出資比率 ニッパツ51%、KBU 30%、フォルシア 19%
- ⑧生産開始 2014年3月 (予定)
- ⑨売上規模 396,000百万ルピア (3,564百万円) (2015年度予定)

メキシコの自動車用懸架ばね生産会社におけるコイルばねの生産

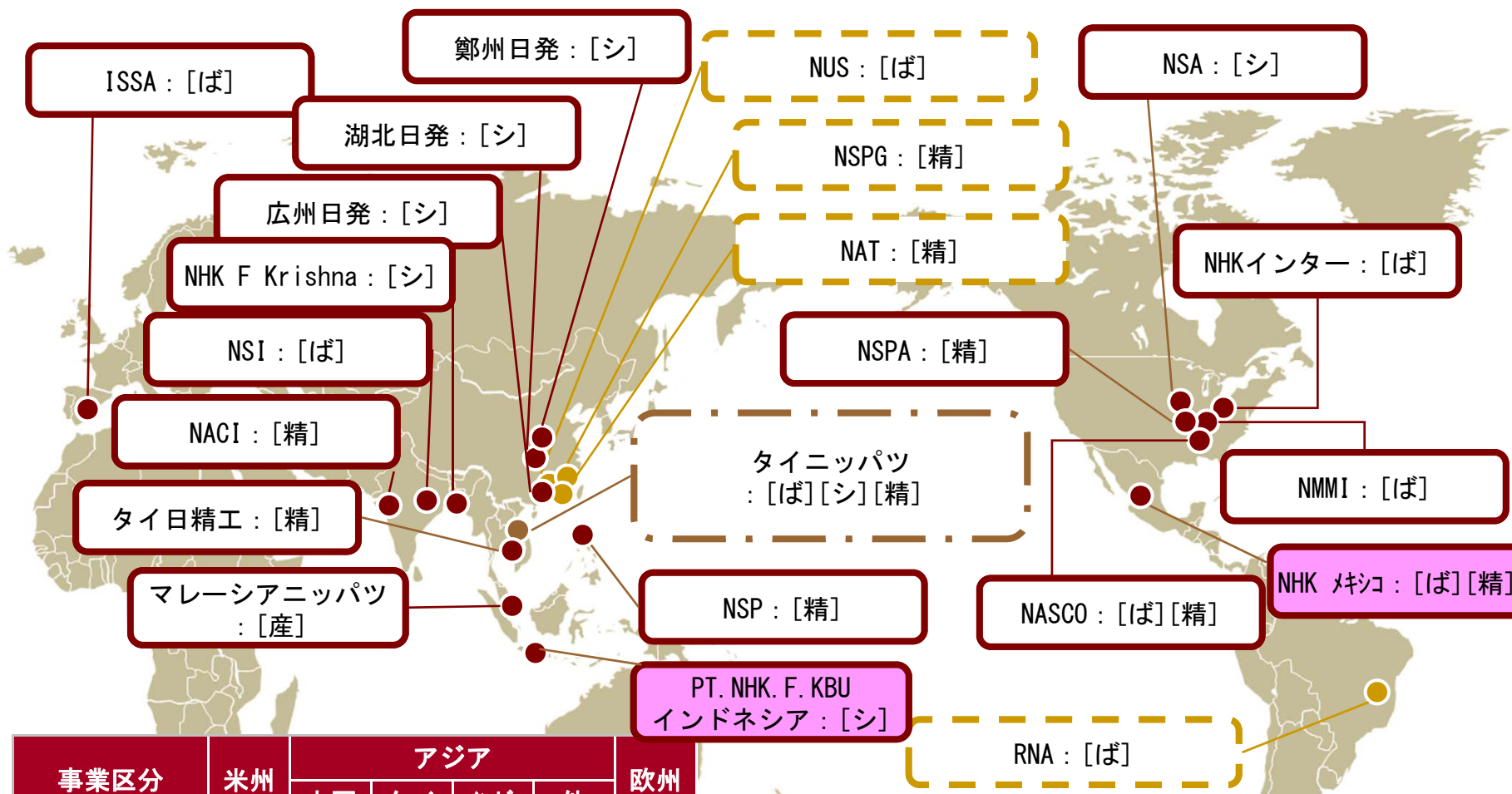
当社は、今後、需要の拡大が予想されるメキシコ市場に対応するため、現地での生産会社を設立いたしました。これまでのスタビライザの受注に加え、コイルばねも受注したことから、2015年2月にコイルばねとスタビライザの生産を開始いたします。

<会社の概要>

- ①社名 NHK SPRING MEXICO, S. A. DE C. V. (ニッパツメキシコ株式会社)
- ②設立 2013年9月
- ③所在地 メキシコ合衆国グアナファト州
- ④工場規模 敷地面積：約60,000㎡ (グループ会社のトープラメキシコ分含む)
延床面積：約 7,500㎡
- ⑤代表者 竹尾 鋼助 (ニッパツ ばね生産本部主管)
- ⑥事業内容 自動車用懸架ばね(スタビライザおよび冷間成形コイルばね)の製造・販売
- ⑦資本金 22百万USドル (2,090百万円)
- ⑧出資比率 NHKインターナショナル (ニッパツの米国子会社) 100%
- ⑨生産開始 2015年2月 (予定)
- ⑩売上 29百万USドル (2,755百万円、2018年度予定)

補足資料

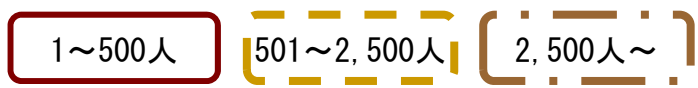
海外展開の状況：主要海外拠点



事業区分	米州	アジア				欧州
		中国	タイ	インド	他	
懸架ばね	○	○	○	○	×	○
シート	○	○	○	○	○	×
精密部品	○	○	○	○	○	×
産業機器ほか	×	×	×	×	○	×

[ば]: 懸架ばね、[シ]: シート、[精]: 精密部品、[産] 産業機器ほか

従業員数、会社規模:



注: RNA, ISSAは持分法適用会社

補足資料 よくある質問と回答①

Q: 主要カーメーカーへの売上比率は？

A: 13年3月期の実績は下表のとおり。

主要カーメーカー	12. 3期	13. 3期	コメント
トヨタグループ	17%	18%	タイニッパツでのシート受注
日産グループ	14%	13%	
富士重グループ	13%	13%	
スズキグループ	6%	5%	
いすゞグループ	5%	6%	
ホンダグループ	4%	4%	
マツダグループ	2%	2%	
フォードグループ	1%	1%	
UDトラックス	-	-	
三菱ふそうトラック・バス	-	-	
三菱自動車グループ	-	0. 6%	
上位3社	44%	44%	
その他	56%	56%	

※比率は総売上高に対する割合

補足資料 よくある質問と回答②

Q:14年3月期通期予想の前提条件は？

A:14年3月期通期予想の前提条件は下表のとおり。

	上期		下期		通期	
	当初	今回	当初	今回	当初	今回
自動車関係						
国内自動車生産台数	428万台	474万台	468万台	511万台	896万台	985万台
HDD関係 (注) 暦年ベース						
HDD生産台数	275百万台	269百万台	310百万台	279百万台	585百万台	549百万台
サスペンション総需要	968百万個	974百万個	1,091百万個	955百万個	2,059百万個	1,929百万個
サスカウント	3.52	3.62	3.52	3.42	3.52	3.51
NHK計画数量	464百万個	363百万個	511百万個	368百万個	975百万個	730百万個
その他						
為替レート US\$	95円	98円	95円	98円	95円	98円
為替レート THB	3.1円	3.15円	3.1円	3.15円	3.1円	3.15円
(為替感応度 1円/US\$)	—		—		(3.0億円)	

補足資料

よくある質問と回答③

Q:HDD用サスペンションの拠点別数量は？（暦年ベースと決算ベース）

A:2012年の実績、2013年の実勢は下表のとおり。

（単位：百万台）

暦年ベース	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	256	235	491	193	200	393	884
<日本>	118	110	228	84	78	162	390
<中国>	42	50	92	50	61	111	203
<タイ>	96	75	171	59	61	120	291
2013年実勢	183	180	363	181			
<日本>	77	70	147	76			
<中国>	41	46	87	49			
<タイ>	65	63	128	55			

決算ベース	Q1	Q2	上期	Q3	Q4	下期	通期
2012年実績	248	209	457	187	199	386	843
<日本>	110	84	194	78	77	155	349
<中国>	42	50	92	50	61	111	203
<タイ>	96	75	171	59	61	120	291
2013年実勢	176	186	362				
<日本>	70	76	146				
<中国>	41	46	87	49			
<タイ>	65	63	128	55			

補足資料：よくある質問と回答④

HDD関連の状況

HDD台数(百万台)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	146	157	303	139	136	275	578
2013年実勢	136	133	269	140	139	279	549

サスペンション総需要(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	558	552	1,110	510	509	1,019	2,129
2013年実勢	496	478	974	472	482	955	1,929

サスペンションカウント(個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	3.81	3.52	3.66	3.67	3.75	3.71	3.68
2013年実勢	3.65	3.58	3.62	3.37	3.46	3.42	3.51

NHK数量(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実勢	183	180	363	181	187	368	730

NHKシェア(%)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実勢	36.9	37.6	37.3	38.2	38.7	38.5	37.9

[注]HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社推定値。